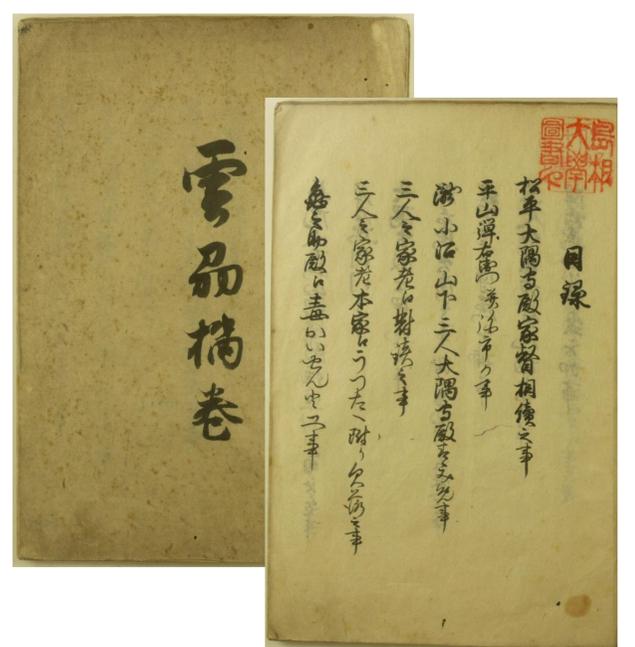
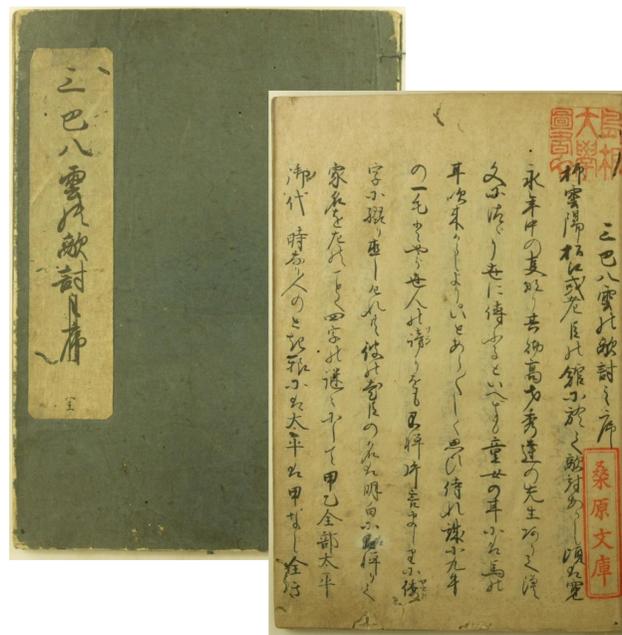


(i)ミュージアム・コンテンツの蓄積：松江・出雲の地域資源（文学等）の調査研究

松江藩に関する実録体小説の研究



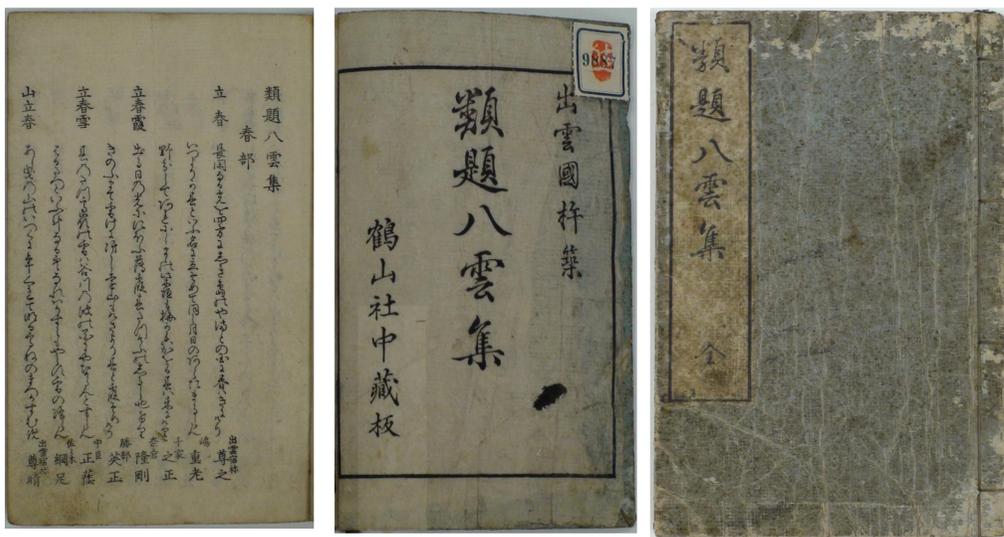
『雲陽秘事記』（島根大学附属図書館桑原文庫）
松江藩主松平氏、初代直政から六代宗衍まで約150年にわたる、藩主とその周辺の人々に関する逸話を集めたものである。

『三巴八雲の敵討』（島根大学附属図書館桑原文庫）
正保2年（1645）、飯尾彦之丞兼晴という人物が松江藩家老屋敷において親の敵を討った事件を扱うものである。

『雲州橋巻』（島根大学附属図書館桑原文庫）
松江藩の支藩である母里藩において、明和3年（1766）、藩主の後継問題をめぐって起こった御家騒動を描く。

出雲歌壇の研究

明治期山陰漢詩の研究

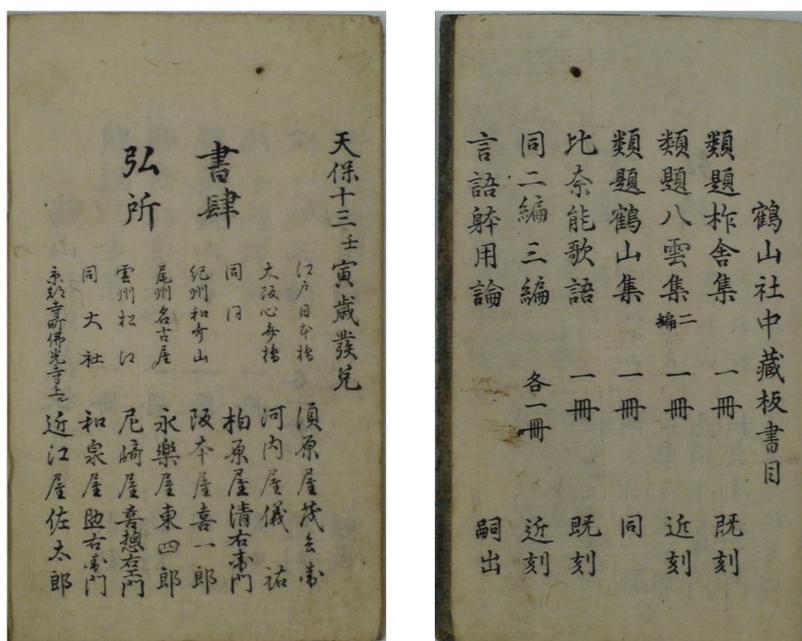


『類題八雲集』は出雲歌人だけの歌を集めた歌集である。



『松江竹枝』篠田謙治著

明治初期の松江の風俗を漢詩に詠んだ貴重な文献。



「鶴山社中」は大社の歌人を中心とした結社である。